

インフルエンザワクチン接種について (2025-2026 シーズン)

9/25 10、11月の土曜日の日程を掲載しました

今シーズンも昨年と同様に、従来の不活化ワクチン(注射)と生ワクチン(経鼻)の2種類のワクチン接種を行います。

接種をご希望の方は本案内を最後までよく読んだ上でご予約下さい。

- ☆ 対象の方 生後6か月から中学3年生の方、および、同時に来院されるご家族
(生ワクチン(経鼻)「フルミスト®」は2歳以上19歳未満の方)
- ☆ 予約開始 9月22日(月)
- ☆ 予約方法 診療時間内に クリニック窓口 または 電話 (055-949-1321) にて予約
(オンラインでの予約は行っていません。)
- ☆ 接種期間 ① 従来の不活化ワクチン(注射) 10月1日(水)～2026年2月28日(土) (予定)
② 生ワクチン(経鼻)「フルミスト®」 10月2日(木)～2026年1月23日(金) (予定)

☆ 接種日時

	10:00	15:00	16:45
月	—	●●	●●
火	●●	●	●
水	●	●	—
木	※1	●●	●●
金	●●	●●	●●
土	●	●※2 13:15	

● 不活化ワクチン(注射) 接種可

● 生ワクチン(経鼻) 接種可

— 設定なし

※1 乳児健診を受ける方のみ予約可

※2 10/11、10/25、11/8、11/22 13:15から接種を行います。

12月以降の日程は決まり次第、改めてご案内いたします。

- ☆ 接種料金 ① 不活化ワクチン(注射)
当院1回目 3,300 円(消費税込み)
当院2回目※ 1,650 円(消費税込み) (※ 当院で1回目を接種された方)
② 生ワクチン(経鼻)「フルミスト®」
8,000 円(消費税込み)
※ 在庫管理の都合上、体調不良以外の理由での変更やキャンセルはご遠慮頂いております。
また、事前連絡無く予約の日時にご来院いただけなかった場合は、キャンセル扱いとさせていただきます。(取り置きはいたしません。)
- ☆ 自治体助成 伊豆の国市に在住の方は① ② 共に、10月1日～2月28日接種分が助成の対象となります。

第2報 2025. 9. 25

伊豆長岡小児クリニック

経鼻インフルエンザワクチン(フルミスト®)についてのご案内

フルミスト®は、鼻に噴霧する“針の無い”ワクチンです。

2003年にアメリカで認可されて以来、海外30以上の国と地域で承認されており、日本でも個人輸入により一部の医療機関では接種されてきましたが、昨シーズンから日本国内での発売が開始されました。

このワクチンは、インフルエンザウイルスを弱毒化した生ワクチンで、これまでの不活化(注射)ワクチンと異なり、ウイルスの侵入口である鼻腔で免疫を作るため、発病の予防と、長い効果持続、高い予防効果などが期待できます。

不活化インフルエンザワクチンとの違い

① 発病を抑えることができる

インフルエンザウイルスは、鼻や喉など気道の粘膜に感染を起こして増殖し全身に広がります。

不活化ワクチン(注射)は、ウイルスの体への侵入を防ぐのではなく、体内(血液中)に侵入してきたウイルスが全身に広がるのを抑えます。つまり、感染そのものを防ぐというよりも、「重症化を防ぐ」作用が主になります。

それに対し、生ワクチン(経鼻)は、ウイルスの体内への侵入口である気道(鼻)の粘膜でウイルスの増殖を抑えるので、感染を阻止する(発病を抑える)ことができます。

② インフルエンザウイルスの微妙な型の違いに対応できる

インフルエンザウイルスは型の変異を繰り返しているため、ワクチンは半年以上も前から、流行する型を予測して作られています。対して、経鼻生ワクチンは注射のワクチンとは異なる「細胞性免疫」という機序でも免疫を高めることができるため、型の変化に強く、多少型が異なっても効果が期待できます。

③ 効果の持続期間が長い

不活化インフルエンザワクチンの効果は4～6か月程度なのに対し、約1年間効果が持続します。

④ 痛くない

鼻に噴霧するだけなので痛みがありません。

⑤ 3種類のタイプの型が含まれている3価ワクチンです

B型インフルエンザはこれまで主に山形系統とビクトリア系統という2つの型が交互または同時に流行してきましたが、2020年以降、山形系統の流行が認められていません。経鼻生ワクチンはA型2株とB型としてビクトリア系統が含まれる3価のワクチンです。なお、注射の不活化ワクチンは昨シーズンまでは4価でしたが、上記の理由により今シーズンから3価に変更されました。

フルミスト®の副反応

フルミストは、弱毒化されたインフルエンザウイルスが含まれており、鼻の粘膜に軽い感染をおこして免疫を付けます。病気を起こす力(病原性)はほとんどありませんが、約6割の方に鼻水、鼻づまりが認められ、その他、10人に1人ほどの方に咳、喉の痛みなどの症状がみられることがあります。また、他のワクチンと同様、まれにショックやアナフィラキシー、じんましんなどの副作用が起きる可能性もあります。

フルミスト®(経鼻生ワクチン)と不活化ワクチン(注射)の比較

	フルミスト®(経鼻生ワクチン)	不活化(注射)ワクチン
対象年齢	2歳以上 19歳未満	生後6か月以上
効果持続	約1年	数か月(4～6か月間)
投与方法	鼻腔内に噴霧	注射(皮下 または 筋肉内)
	3価	3価
接種回数と 間隔	1回 (年齢やインフルエンザの罹患歴、ワクチン接種歴等は関係なし)	13歳未満:2～4週間隔で2回接種 13歳以上:1回接種
特 徴	・接種の痛みがない ・発症を抑える ・予防効果が高い ・ウイルスの軽微な変異に強い(流行株以外にも有効) ・効果が持続する(長く効く) ・接種が1回で済む ・接種後に咳、鼻中、鼻閉、頭痛などの症状が出やすい ・鼻水が多い、泣いてしまう、といった場合に十分な効果が得られない場合がある	・重症化を防ぐ
接種に際して 注意が必要な 方	・接種時に鼻炎症状が強い方、鼻汁が多い方 ・ゼラチンアレルギーを有する方 ・重い喘息のある方、また、接種時に喘鳴(ヒューヒュー、ゼーゼー)がある方 ・重度の免疫不全患者と接する可能性のある方 ・授乳中・妊娠中の方、妊娠の可能性のある方 など	・重い卵アレルギーを有する方 ・間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患を有する方 ・免疫不全の方、近親者に先天性免疫不全症患者がいる方 ・妊娠中の方 など
他のワクチン との同時接種	○	○
他のワクチン との接種間隔	考慮不要 (生ワクチンですが”注射の生ワクチン”では無いため、間隔の考慮は不要です)	考慮不要
助成対象 ※ (伊豆の国市)	○	○

※ 伊豆の国市に住民登録がある 0 歳から中学 3 年生まで(平成 22 年 4 月 2 日以降に生まれた方)
(なお、不活化(注射)ワクチンは生後6か月未満、経鼻生ワクチンは 2 歳未満の接種はできません)